



ImPACT Program Manager  
山海 嘉之 Yoshiyuki SANKAI

- 1987年 筑波大学大学院博士課程修了
- 1998年 米国Baylor医科大学 客員教授
- 2003年 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授
- 2004年 CYBERDYNE(株) CEO
- 2011年 筑波大学サイバニクス研究センター長
- 2014年～ ImPACTプログラム・マネージャー

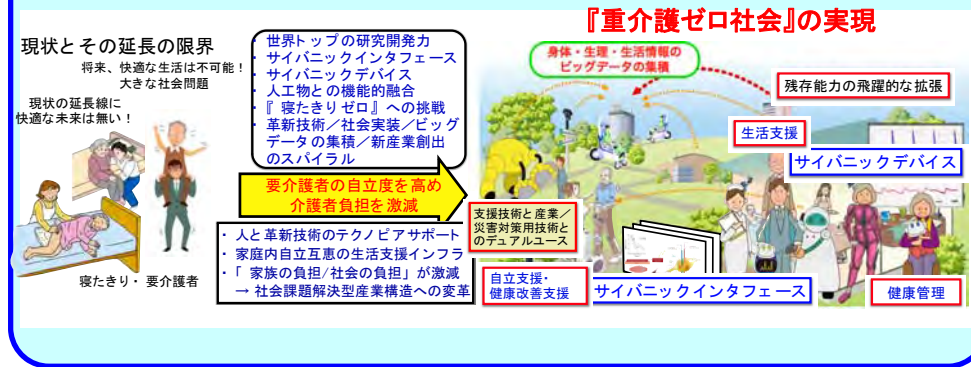
革新的サイボーグ型ロボットという新領域の先端技術を開拓し、ベンチャーを起業。知財戦略、ISO国際規格策定を主導し、ロボットスーツ「HAL」が医療機器CEマーキング認証を取得。ドイツの公的労災保険の適用を実現。株式上場・国際展開に至る国際ビジネスマネジメントに関して、高い能力を発揮。2009～2014年内閣府・最先端研究開発支援（FIRST）プログラム中心研究者。

### ＜研究開発プログラムの概要＞

重介護ゼロの実現に向けて、要介護者の自立度を高め、さらに介護者の負担を激減させる人とロボット等の融合複合支援技術を研究開発し、革新的生活支援インフラ化・社会実装に挑戦。

### ＜非連続イノベーションのポイント＞

人の脳神経系・身体とロボット等を融合複合し機能させる革新技術の研究開発。残存機能の飛躍的拡張と介護者負担の激減、『重介護ゼロ社会』の実現



### ＜期待される産業や社会へのインパクト＞

人とロボットを繋ぐ革新的人支援技術・新産業の創出と、従来の消費型経済から社会課題解決型経済へのパラダイムシフト。産業・社会変革（ソーシャルビジネス・イノベーション）の実現。

